慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	執筆者紹介；編集後記
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾福沢研究センター
Publication year	2012
Jtitle	近代日本研究 (Bulletin of modern Japanese studies). Vol.29, (2012.)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN10005325-20120000-0396

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

執筆者紹介（掲載順）

小林道彦	北九州市立大学基盤教育センター教授
櫻井良樹	麗澤大学外国語学部教授
清水唯一朗	慶應義塾大学総合政策学部准教授
季武嘉也	創価大学文学部教授
中村宗悦	大東文化大学経済学部教授
松本洋幸	横浜開港資料館・調査研究員
内藤一成	宮内庁書陵部編修課・主任研究官
小泉仰	慶應義塾大学名誉教授 慶應義塾福沢研究センター顧問
丑木幸男	国文学研究資料館史料館名誉教授 別府大学講師
奥村大介	慶應義塾大学大学院文学研究科博士課程 日本学術振興会特別研究員
加治屋智実	慶應義塾大学大学院文学研究科研究生

編集後記

二〇一二年は、大正元年から数えて一〇〇年目にあたる。そこで、本巻は「大正期再考」という特集を組み、このテーマにふさわしい七名の研究者から論考を寄せていただいた。明治維新が近代日本の始まりだとすると、大正期は現代への転換期といえる。また、大正と平成は、バブル経済の崩壊、長期不況、大震災の発生など、共通する出来事が多い点も興味深い。本特集は、この時期に対して、政治思想史、外交史、経済思想史など多様な視角から光をあてたユニークな企画になったと思う。お忙しい中、ご協力いただいた先生方には、この場を借りて重ねて御礼申し上げる。

今回の一般投稿論文は、昨年よりも大幅に増え、十一本の応募があった。これらの中から、各論文につき二名のレフェリーによる査読の結果、四本を論説として掲載することとなった。ほかに、新発見の福沢諭吉関連資料・書簡の紹介を収めた。

本誌は、今後とも、福沢諭吉および慶應義塾史を中心とする近代日本研究の成果発表および交流の場（フォーラム）として、その役割をしっかりと果たしていく所存である。

次巻は、二〇一四年二月の刊行予定である。多数の野心的な論文の応募を期待したい。